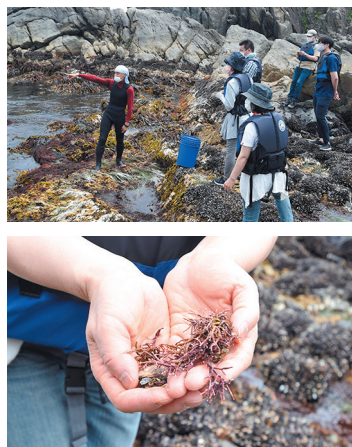




舞台は種差海岸

この授業は「環境と生物―種差海岸で考える―」と題した科目で、講義のほか野外での自然観察を通して生物と環境との関係性を学びます。青森県内在住の学生10名が受講し、八戸工業大学生命科学科教授の田中義幸先生が講師を務め、アシスタントとして同学の学生も参加しました。

「なぜ」を刺激し いきいき学ぶ！ 放送大学の面接授業



取材に訪れた27日は、まずは座学で生態学についての基本的な考え方を学びました。「生態系は環境の影響を大きく受けながら成り立っている」「生物の分布について理解を深めるには『時間の経過と空間の変化』という二つの軸からの分析が不可欠」といった田中先生の話に、学生たちはメモを取りながら真剣に耳を傾けていました。

見て触れて、理解を深める

座学の後には、岩場で海藻採集を行いながら種差海岸を取り巻く環境への理解を深めました。「これはワカメとコンブのどちらでしょう」「シーグラスが白くなる原因は何でしょう」「水中の海藻からぷくぷくと泡が出ているのはどうしてでしょう」など、田中先生がさまざまな「出題」をする場面が多く見られました。



学生たちはそのたびに考えた答えを発言したり、学友同士でディスカッションをしたりしながら、いきいきと講義に参加していました。終盤では、学生の一人がアメフラシを発見し、田中先生が説明するその不思議な生態に一同目を輝かせていました。

採集した海藻は、自分たちの手で標本に。同授業は田中先生が公益財団法人青森学術文化振興財団の助成を受けて八戸市民や地元大学生たちと協働して行う研究の一環でもあり、作成した標本はその資料として活用されるそうです。

また、採集に際しては、八戸市南浜漁業協同組合深久保部会のみなさんの協力を得ました。

双方向の授業が魅力

授業を終えた学生の一人は、「先生の講義を対面で聞くことができて新鮮でした。フィードバックでは、ほかの学生の表情が見えたり考え方を知れたりして楽しかったです」と笑顔で感想を話してくれました。

田中先生が「放送大学には意欲的な学生が多く、面接授業は毎回楽しみ。授業では学生と双方向でコミュニケーションを取ることを心がけているので、いろいろな物事に疑問を持ち『自分ごと』として考えてもらいたい」と話すように、面接授業は知的好奇心を刺激し、知見を広げる絶好の機会。参加することで、新たな世界への扉を開いてくれますよ。



田中義幸先生



「知りたい!」が見つかる面接授業

青森県内ではこのほかにも多種多様な面接授業が展開されているので、興味のある分野が見つかるはずです。また、現在は新型コロナウイルスの感染対策のため面接授業の参加者を県内在住者に限定し、少人数制で実施されています。受講には放送大学への入学が必要です。資料などは八戸サテライトスペースや青森学習センターで配布しているので気軽に足を運んでみて下さい。

八戸サテライトスペース

見学や学習相談はお気軽に

八戸駅に直結「ユートリー」4階にあり、とっても便利です。スタッフが様々な相談に丁寧に対応するほか、学習のスペースとしてもご利用いただけます。

土日でも利用できます (月曜・祝日は閉所)



放送大学 10月入学生募集中!!

※資料請求や出願はインターネットでもできます。

9/14(火)まで
出願受付中!

ウィズコロナ時代の「新しい学び方」

オンラインで学ぶ放送大学です!

もっと詳しく知りたい方は

<https://www.ouj.ac.jp>

放送大学

検索



自宅マイペース
で学べる

学びたい科目
だけでも学べる

授業料の負担が
少ない

大学卒業資格が
取れる

問い合わせ
資料請求

八戸サテライトスペース
ユートリー 4階

0178-70-1663

青森学習センター
弘前大学コラ弘大7階

0172-38-0500

若い方もたくさん学んでいます!